

大槌発

熊本・益城町から相談員

去年の熊本地震で大きな被害を受けた熊本県益城町。その仮設住宅団地で相談員をしている公益財団法人の職員3人が大槌町の社会福祉協議会を訪れ、



サポートの方法や体制について学びました。大槌町の生活支援相談員は、被災者の悩みや相談をひとりで抱え込まず必ずチームで解決にあたることや仮設住宅の戸別訪問で培った人間関係がその後の新たな生活

再建の場でも大切になることなどを話しました。

(9/13 ニュースエコー)

大船渡発

不漁でさんままつり延期

毎年9月の中旬から10月頃に行われ、多くの人で賑わう「三陸大船渡さんままつり」がサンマの不漁を受けて、今年

は7年ぶり2回目の延期が決まりました。まつりの実行委員会は今後、水揚げの状況



をみながら来月21日と22日に開催される市の産業まつりとの同時開催を目指して調整を行うことにしています。

(9/14 ニュースエコー)

東京発

大槌で加工された牡蠣

東京・新宿高島屋での全国のおいしいものを集めた物産展に飲食店・オイスターバーを全国展開する東京の企業「ゼネラルオイスター」が大槌町で展開しているカキの加工工場「牡蠣ノ星」の商品が並びました。大粒のカキをふっくら炊き上げた「ごろっと



ふっくらカキのガーリックオイルマリネ」などカキ加工品10点のほか、蒸したての釜石産真ガキも販売されました。

(9/14 ニュースエコー)

釜石発

英語でコミュニケーション

被災地の高校生を国際社会で活躍できる人材に育てていこうと英語でのコミュニケーションを学ぶ研修会が釜石高校で開かれました。コカ・コーラ教育・環境財団が震災被災3



県の高校生を対象に企画したものです。研修会には1、2年生およそ40人が参加し、5人の外国人講師とともに故郷の良さや自分の夢などを英語で語り合いました。(9/16 ニュース)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、就労継続支援B型事業所「作業所きらり」で制作、販売している植木鉢について伝えてくれました。これは職員の長



谷川泰子さんが考えたもので、不要になった漁業用の浮き玉を植木鉢として再利用したものです。ブタやネコ、カエルなどのかわいい「アニマルポット」や

「花まるポット」があります。不要のものといっても浮き玉磨きから始め、それぞれの形に組み立て、顔を作るまで1日がかりの仕事です。商品は「作業所きらり」のホームページから注文書をダウンロードして注文できるという事です。(9/13)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の伊藤こづえさんが、9月23日と24日に行われる「第7回 大船 to 大船渡」について伝えてくれました。これは復興支援を目的に震災直後から継続しているイベントで、神奈川県鎌倉市大船が大船渡市と一部名前が同じ縁から鎌倉の大船の芸術館通りを会場に開催している産業まつりです。24日はサンマの無料試食会が行われる他、大船渡物産展や野外コンサートなども開催されます。(9/20)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122